

【水の里の旅コンテスト 2020 応募企画】

【一般部門】

株式会社ナビタイムジャパン

『富士山の湧水が支える文化を巡る 富士山の溶岩流に秘められた 100 年の時を巻き戻す』

(観光地域：静岡県 清水町、三島市、沼津市、裾野市、函南町)

【日 程】	日帰り		
【実施時期】	通年		
【催行人員】	1 名 (最少催行人員： 1 名)	【お勧めする旅行者層】	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムとして自然とのふれあい（精神的なくつろぎ・安らぎ・癒し）を求める首都圏在住層 ・「自然」「異文化」「アクティビティ」を求めるアドベンチャーツーリズム関心層 ・40～50 代のロードバイク経験者層 (E-BIKE ターゲット層)
【旅行代金】	5, 500 円 (大人 1 名)	【内 訳】	
		レンタサイクル (E-BIKE) 代金	5000 円
		1DAY 保険	500 円
【企画趣旨 (伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント)】			
<p>【富士山に降り積もる雪は、100 年という年月をかけ、湧き出る潤いの水に】</p>			
<p>国土のおよそ7割が森林でおおわれている日本は、水の豊かな国です。山のふもとで暮らす人々は、山と森の恵みである湧き水を大切に利用し暮らしています。静岡県清水町もその恩恵を受け、富士山がもたらす湧き水とともに生きてきました。</p>			
<p>清水町内に突如現れる全長 1.2Km の日本一短い一級河川である柿田川は、日量 110 万トンの“湧水のみ”でできています。</p>			
<p>約 1 万年前の富士山の噴火によって流れ出た三島溶岩流。水を通しやすいこの溶岩流が、富士山に降った雪や雨を伊豆半島に運び湧き溢れ、川や池をつくりました。伏流水は川と違い、流れる速さが非常にゆっくりしており、溶岩の途中に沢山ある風穴で地域の空気を取り組みながら、100 年以上の時間をかけて濾過され、末端の清水町から湧き出ます。</p>			
<p>そのため、柿田川に流れる湧水はまるやかな軟水でカルシウムやマグネシウムなどのミネラルを多く含み、ほぼ無菌状態でそのまま飲むことができます。川に流れる水すべてが、大自然のミネラルウォーターとして飲用できる世界でも珍しい自然環境です。</p>			
<p>この柿田川を水源として、清水町を含む沼津市・三島市・熱海市・函南町の 3 市 2 町に飲用水として供給されるとともに、工業設備機器の冷却や新幹線の車両洗浄に利用されるなど、地域の産業・文化・生活を支えてきました。川の周辺では、縄文、弥生の時代から人々が生活してきました。このことは、川の両岸より発見されている土器片などから知ることができます。きっと、柿田川に集まってくる魚をとって生活をしていたのでしょう。この豊富なミネラルを含む湧水の食の歴史は、この地で生産される、豆腐・うなぎ・馬鈴薯(コロッケ)などの名産に受け継がれています。</p>			
<p>本企画は、「柿田川の源泉」となる、100 年前の富士山の雪解け水を、溶岩流の自然景観とともに巡るアドベンチャーツーリズムです。溶岩や川の流れを横目に走り、溶岩流が作った風穴に入り水の流れを感じ、溶岩に沿って点在する各地の湧水スポットでボトルに水を注いで給水しながら巡ります。自然の恵みである湧水は、運動して飲むことでより美味しく、より雄大な自然を感じる事ができるでしょう。</p>			
<p>富士山が生み出す自然の風景、水が湧き出すメカニズム、水によってつくられる地域の風景を巡り、三島溶岩流末端から富士山の絶景を目指して駆け抜けます。</p>			
<p>コロナ禍で地域住民との関りが難しいなか、自転車を活用したアドベンチャーツーリズムによって、地域住民との関りを最小限に留め、地域の食や自然アクティビティ体験を通し、水の魅力を長い歴史とともに振り返ります。</p>			



【安全確保のための配慮】		【旅行者の満足感を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】	
<p>■全行程とも危険箇所への立ち入りはありません。</p> <p>■E-BIKE 利用開始前に自転車メーカーによる講習を実施。</p> <p>■E-BIKE は時速 24km にアシスト制限を実施。</p> <p>■走行危険箇所及び注意事項の事前告知をするルート工程（デジタルツール）の提供。</p>		<p>物見遊山な観光ではなく、富士山が作り出す景観地化されていない自然観光資源を体験するアドベンチャーリズムとなります。</p> <p>コロナ禍において、グリーンツーリズムの需要は高まっており、富士山という身近な存在の中で、溶岩流を巡るアクティビティを通じて文化と自然を体験することで自身の成長・変革と地域経済への貢献を実現します。</p> <p>また、一般的なサイクルツーリズムとは違い、電動ロードバイクである E-BIKE は快適な漕ぎだしと時速 22～25km を維持する高アシスト機能で快適なサイクルツーリズムを実現します。</p>	
【インバウンド対応のための工夫】			
After コロナ後より開始			
<ul style="list-style-type: none"> ・多言語表記のパンフレットの配布（予定） ・多言語観光ガイドの配信（予定） 			
【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】	【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】
① メリダジャパン株式会社	E-BIKE レンタル	② 株式会社ナビタイムジャパン	企画協力・ツアー設計
③ 日本大学 国際関係学部 国際総合政策学科 矢嶋 敏朗 准教授	有識者		
【催行実績】	無		

【 行程表 】 モデルコース E-BIKE ===	
1日目	9:00 集合・9:30 発 MERIDA XPERIENCE CENTRE 伊豆ゲートウェイ函南 === 水の湧き出るエリア（柿田川湧水・白滝公園 ※①） === 水が流れ出すエリア（五竜の滝 ※②） === 水を秘めるエリア（駒門風穴 ※③） === 富士見台 === （三島駅） 16:30 着 MERIDA XPERIENCE CENTRE 伊豆ゲートウェイ函南 ※各エリア内①～③のサブスポットを選択しながら巡る

立ち寄りメインスポット【 基本コース 】		
【移動手段 E-BIKE】 スタート地点	【 三島溶岩流末端の湧水 】 水の湧き出るエリア	【せせらぎの音を聴きながら飲む湧水】 水の湧き出るエリア
 <p>MERIDA XPERIENCE CENTRE 伊豆ゲートウェイ函南</p>  <p>伊豆箱根鉄道サイクルトレイン</p>	 <p>柿田川公園第二展望台</p>  <p>取水場</p>	 <p>白滝公園</p>  <p>取水場</p>
<p>【コメント】 溶岩に沿った観光スポットを MERIDA XPERIENCE CENTER の E-BIKE で巡ります。本ツアーはこのレンタサイクルで地域の空気を感じながら大自然を移動します。</p> <p>E-BIKE はスポーツバイクと同じ設計の電動自転車です。疲れにくく実用性があることはもちろん、ペダルの効率を追求し、ダイレクトに推進力に繋がる仕様になっています。講習を 30 分受けてからスタート。</p> <p>伊豆箱根鉄道にはサイクルトレインが走っているの、体力に自信の無い方は、三島駅までの移動をスキップすることもできます。</p>	<p>【コメント】 柿田川の湧水群はちょうど富士山から今の御殿場線に沿って流出した三島溶岩流の末端にあたり、水を通しやすい多孔質な溶岩層の間を流れた地下水が、いたるところで湧出しています。</p> <p>柿田川公園内では、青く透き通った美しい水が湧き出る「湧き間」を見ることができ、日の光と砂が作り出した幻想的な水の色を楽しむことができます。</p> <p>豊富にあふれる湧水場で、記念すべき最初の一杯目をいただきましょう。</p>	<p>【コメント】 湧水を飲んで一休みです。</p> <p>白滝公園はかつて三島の一大湧水地でした。湧き上がる水量が多く滝のように流れ落ちることから「白滝」と呼ばれたのが名前の由来です。</p> <p>足元には溶岩が露出しています。公園内の池を見ていると、あちこちでぽこぽこ水が湧き出る様子が分かります。</p> <p>少し離れた菰池からの湧水と合流し、桜川となっています。手足を桜川につけると雪解けを感じる冷たさに触れることができます。</p>




【奇跡の溶岩トンネルの湧水】 水を秘めるエリア	【湧水のルーツ富士山の景色】 ゴール地点	
 <p data-bbox="411 676 533 715">駒門風穴</p>  <p data-bbox="428 1035 516 1074">取水場</p>	 <p data-bbox="1041 676 1150 715">富士見台</p>	
<p data-bbox="163 1080 321 1118">【コメント】</p> <p data-bbox="153 1127 783 1344">当時の原型を保持している風穴としては、国内で最大級とされている「駒門風穴」。およそ1万年前の新富士噴火によりできたトンネルで、途中から2本に分かれ150m程奥まで入れます。</p> <p data-bbox="153 1353 783 1522">内部は夏冬を通じ13℃。凸凹も多く、腰をかがめて歩くのには少し骨が折れるかもしれませんが、冒険心のある人はその先の光景を見るために進んでみましょう。</p> <p data-bbox="153 1531 783 1656">ここが最後の給水スポットです。これまでの取水場で最も富士山に近いので、水の味も一味違うと感ずるかもしれません。</p>	<p data-bbox="823 1080 980 1118">【コメント】</p> <p data-bbox="812 1127 1358 1255">富士見台は富士山の絶景スポットです。土肥温泉の南に位置し、駿河湾と一緒に富士山が堪能できます。</p> <p data-bbox="812 1308 1358 1436">ここまで来ると三島溶岩流が遥々遠くから流れてきたことを実感できるでしょう。</p>	

※① 体験用サブスポット 【 水の湧き出るエリア 】		
【楽寿園】	【源兵衛川】	【三島大社】
 <p data-bbox="369 2228 573 2267">小浜池(満水時)</p>	 <p data-bbox="968 2228 1230 2267">源兵衛川散歩コース</p>	 <p data-bbox="1675 2228 1745 2267">本殿</p>
<p data-bbox="163 2326 321 2365">【コメント】</p> <p data-bbox="153 2374 783 2680">楽寿園は三島駅のすぐ南に位置した広さ約75,474㎡の自然豊かな公園です。溶岩の上に実生した樹木を観察することができます。園内にある小浜池は国指定天然記念物及び名勝区域で、溶岩の間からの湧水により毎日水位が変化します。枯渇時は底が剥き出しになり、溶岩のゴツゴツした姿が現れます。</p> <p data-bbox="153 2718 783 2807">10月～11月にかけてたくさんのどんぐりが落ちているのが秋の風物詩と言えます。</p>	<p data-bbox="823 2326 980 2365">【コメント】</p> <p data-bbox="812 2374 1358 2629">水の都・三島を象徴する源兵衛川は、楽寿園小浜池の伏流水を源流とする約1.5kmの清流です。川の中には散策を楽しめるように置き石が設けられ、市民や観光客が訪れ、子供たちの遊び場にもなっています。</p> <p data-bbox="812 2638 1358 2849">また、市民により「源兵衛川を愛する会」が結成され、敵的な河川清掃や、「三島ほたるの会」による蛍の幼虫放流などの活動を通して親水公園は維持されています。</p>	<p data-bbox="1417 2326 1575 2365">【コメント】</p> <p data-bbox="1407 2374 1953 2680">三島大社は伊豆諸島の火山神を鎮める伊豆一宮として古くから崇拝されています。祭神である三島大明神は、大きな噴火のたびに三島大明神は神格を高めていきました。人々が大地の恵みを受けつつ、畏れをもって自然と向き合ってきたことが分かります。</p> <p data-bbox="1407 2718 1953 2849">富士山の溶岩と泥流の石が玉垣などに使われています。春には15種類200本の桜が境内を鮮やかに染めます。</p>

※② 体験用サブスポット 【 水が流れ出すエリア 】

【鮎壺の滝】	【借樂園】	【五竜の滝】
 <p data-bbox="405 715 531 750">鮎壺の滝</p>	 <p data-bbox="1035 715 1161 750">不動の滝</p>	 <p data-bbox="1654 715 1780 750">五竜の滝</p>
<p data-bbox="163 810 321 845">【コメント】</p> <p data-bbox="153 854 762 1160">鮎壺の滝は溶岩流の岸かべに形成された高さ9m、幅65mの滝で、溶岩の間から流れ落ちるときとはるかに望む富士山が絶景であることから、「富士見の滝」とも呼ばれ、県の天然記念物として指定されています。水量が少ない時は飛び石を渡って滝の裏側に行くことができます。</p> <p data-bbox="153 1210 762 1383">溶岩は3層に固まっているのが肉眼で確認でき、高さ数mもの溶岩樹型があります。ここでは、通常観察困難な溶岩流の断面を見ることができます。</p>	<p data-bbox="814 810 972 845">【コメント】</p> <p data-bbox="804 854 1413 1071">園内にある滝は、富士山の溶岩によって形成された溪流を流れ落ち、脇に不動明王を祀ったお堂があるので「不動の滝」として地域に親しまれています。高さ約10mで、うっそうとした樹林の間を轟々と流れ落ちます。</p> <p data-bbox="804 1121 1413 1205">園内では春には桜、夏には紫陽花など季節の花々が綺麗に見えます。</p>	<p data-bbox="1430 810 1587 845">【コメント】</p> <p data-bbox="1419 854 1980 1205">五竜の滝は静岡県指定天然記念物に指定されています。市内の中央を南北に流れる黄瀬川と、愛鷹山から流れる佐野川との合流付近にあり5本の滝が流れています。滝にはそれぞれ左から「雪解け」「富士見」「月見」「銚子」「狭衣」と名がつけられていて、五竜の滝の語源になっています。</p> <p data-bbox="1419 1255 1980 1516">今から約1万年～5,000年前に噴火を繰り返した新富士山の三島溶岩流が断面で観察でき、幅100メートル、高さ12メートルの間に何層もの溶岩流が重なり、その層の間から流れ落ちる湧水を観察することもできます。</p> <p data-bbox="1419 1525 1980 1650">現在は、この滝を中心としたあたり一帯が観光スポットであるとともに、市民の憩いの場となっています。</p>

※③ 体験用サブスポット 【 水を秘めるエリア 】

【黄瀬川】	【岩波風穴】	【カンコラ淵の滝】
 <p data-bbox="426 2190 520 2226">黄瀬川</p>	 <p data-bbox="993 2190 1213 2226">岩波風穴入り口</p>	 <p data-bbox="1602 2190 1822 2226">カンコラ淵の滝</p>
<p data-bbox="163 2234 321 2270">【コメント】</p> <p data-bbox="153 2279 783 2451">黄瀬川は、静岡県を流れる一級河川。私たちの暮らしを守り、産業を発展させるうえで特に重要だと、国に管理されています。狩野川水系最大の支流で流路延長30kmあります。</p> <p data-bbox="153 2502 783 2674">御殿場市に源を発していて、途中には富士溶岩の断崖にかかる五竜の滝、鮎壺の滝などがあります。溶岩の流れた跡が目立つ河川で、溶岩の壮さを物語っています。</p>	<p data-bbox="825 2234 982 2270">【コメント】</p> <p data-bbox="814 2279 1392 2496">流れ出た三島溶岩が流れて固まる時に、固まり方の遅い中心部の溶岩が流れ出た溶岩トンネル。219mあり、JR岩波駅の下まで続いています。3つの空洞部分が結合してできています。</p> <p data-bbox="814 2546 1392 2807">洞内は、少し入っただけでも真っ暗で、水の滴る音が神秘的。奥に進むと地面が泥沼状態。匍匐前進でしか進めないところもあります。奥まで進むのであれば汚れても良い格好・ヘルメット・懐中電灯が必要です。</p>	<p data-bbox="1423 2234 1581 2270">【コメント】</p> <p data-bbox="1413 2279 1980 2451">「滝」ではなく「淵」というのは、雨の時は水流の幅が3倍に広がるだからだそう。落差は3mと小規模ながら、淵の大きさから増水時の迫力ある姿が想像できます。</p> <p data-bbox="1413 2502 1980 2585">観賞は下流にかかる「横橋」から眺められます。</p>

体験用サブスポット【 グルメ 】		
【うなぎ】	【豆腐】	【みしまコロッケ】
 <p>和食蒲焼 高田屋</p>	 <p>食事処かわせみ本館</p>	 <p>みしまコロッケ</p>
<p>【コメント】 この地域のうなぎは美味しいと評判です。でもこの地域ではうなぎの養殖はしていません。いったい、なぜ評判なのでしょう。</p> <p>浜名湖などの産地から運ばれてきたうなぎは、1週間ほど湧水にさらされます。この1週間でウナギのお腹に残った餌や泥などが吐き出されます。余分な脂肪も落ち、身が引き締まった、歯ごたえのある味へ変わっていくのです。</p> <p>うなぎの美味しさは湧水のめぐみであり、水の良し悪しで決まる特別な料理なのです。</p>	<p>【コメント】 柿田川百年水豆腐は、柿田川の湧水で仕込みをして晒した名物の豆腐です。</p> <p>弱軟水で雑味のない柿田川湧水に国産大豆100%を使用し、豆腐マイスターが手間を惜しむ事なく作りあげた柿田川百年水豆腐は、美味しい豆腐づくりに欠かせない「水・豆・つくり手」の全てが揃った逸品。豆乳はフルーツと同等の糖度があり、その甘さが豆腐の深い味わいへと直結します。</p>	<p>【コメント】 みしまコロッケは出荷時期が1か月程度しかない貴重なじゃがいもである「三島馬鈴薯」を使用しているコロッケです。</p> <p>この辺りの地域は火山活動が盛んな時期に降り積もった火山灰からなる地層で、ミネラル分が豊富な保肥性に優れた土壌に加え、南向き斜面は、通気性、保水性に優れているため、じゃがいもの生産に適しています。</p> <p>やわらかい火山灰土壌を利用し、手掘りで収穫する三島馬鈴薯を使用したみしまコロッケは、ご当地B級グルメとして有名です。外はサクッ、中はクリーミーで、甘みが強いのが特徴です。味は各店のオリジナルのため、それぞれ創意工夫したコロッケが楽しめます。</p>

<行程図>



全景図

